

オンキヨーホームエンターテイメント株式会社 事業紹介⑤ ヒアリングデバイス事業 「ヒアリングデバイス事業 その2」について

オンキヨーホームエンターテイメント株式会社は、2021年1月29日付「当社グループのご紹介について」でご説明の通り、ホームシアターやオーディオを主とした「ホーム AV 事業」、ヘッドホンを中心とした「ヒアリングデバイス事業」、そしてゲーム周辺機器の「ゲーミング事業」を主たる事業ドメインとしております。「ヒアリングデバイス事業」について、2月25日の「ヒアリングデバイス事業 その1」にて 補聴器、聞こえサポート商品（ヒアリングサポート商品）、家庭用電話機についてご紹介させていただきました。今回はもう一つの主軸であります「ヘッドホン・イヤホン商品」についてご紹介いたします。

1. 「テレワーク需要」に対する取り組み



当社では新型コロナ感染拡大により急速に高まっているテレワーク（在宅勤務）での使用に最適なデバイスの提案を2020年4月の緊急事態宣言直後より提案しております。

カンファレンススピーカー “RAYZ Rally”は、特に米国において、2020年対前年225%の出荷台数と好調に推移いたしました。コロナ禍での在宅勤務時に Plug&Play のシンプルな使い勝手とパワフルなオーディオツールだという点が評価されたこと、米国の医療施設でのモバイルデバイスによる言語翻訳サービス用のオーディオサポートデバイスとして B2B 用途で広く採用されたことが理由です。



RAYZ Rally はパソコンにも接続でき、テレワーク用マイク&スピーカーとして最適

テレワークにおいて WEB や電話会議を行う際、ヘッドホン・イヤホンで会議をすると周囲の音が聞こえづらくなり、家族の呼びかけや宅配物の受け取りに支障をきたすこともあります。また、会議専用マイク付きヘッドセットは、仕事時間外での音楽や映像を楽しむということがしにくいという難点もあります。そこで当社では、ワイヤレスネックスピーカー “C9wireless ”、ワイヤレスヘッドホンと “S3wireless”をご提案しております。

“C9wireless”は、耳を塞がず首にかけて使用するウェアラブルタイプのため、両手を塞ぐことも、コードのわずらわしさもなく、自宅やオフィスでの WEB・電話会議の際に PC やスマートフォンと Bluetooth® によるワイヤレス接続でご使用いただくと、耳もとではっきりと聞こえることはもちろん、周囲の音も聞こえるため、会議中にご家族の呼びかけなども聞くことができます。装着していることを忘れるほど軽いわずか 100g の軽量設計は肩や首の負担にならず、コードの束縛から解放されてテレワーク時の Web 会議の良きパートナーとしてお使いいただけます。

“S3wireless”も WEB・電話会議の際に PC やスマートフォンとの Bluetooth® のワイヤレス接続でコードに縛られずに会議や通話ができます。お求めやすい価格ながらテレワークに必要な機能を有し、リラックスしたい休憩時にはそのまま高音質の音楽再生をお楽しみいただけます。



C9wireless



S3wireless

C9wireless: <https://pioneer-headphones.com/japanese/outdoor/c9wirelessneckspeaker.html>

S3wireless: <https://pioneer-headphones.com/japanese/style/s3wireless.html>

2. 当社ヘッドホン・イヤホンビジネス概要

当社では現在、パイオニアブランドを中心にこのカテゴリーの市場提案を行っております。そもそもパイオニアブランドのヘッドホンの歴史は長く、1960 年にヘッドホン一号機「SE-1」を発売以来、半世紀以上の時代の中で数々の画期的なヘッドホンを生み出してまいりました。国産初のダイナミックスピーカー「A-8」をはじめ、革新的なオーディオ製品をパイオニアブランドとして 80 年近くわたって生み出し続けており、「原音にひたすらに忠実な再生」を目指すという姿勢は、ヘッドホンにも引き継がれております。

時代の先をいく技術を組み重ねたパイオニアヘッドホン半世紀の歴史。

<p>1960</p> <p>SE-1 パイオニア初のヘッドホン一号機。ダイナミックスピーカー方式で、バイナル発振により立体感豊かな再生を実現。</p>	<p>1971</p> <p>SE-100 軽量ヘッドホン。聴取距離を短縮せず、聴感でダイナミックレンジから好評を得た。</p>	<p>1973</p> <p>SE-205 コンパクトで一回り小型なヘッドホン。2000Hz/3000Hz/4000Hzの3バンドで実用され、ロングヒットとなった。</p>	<p>1974</p> <p>SE-700 世界的に大流行して一世を風靡したヘッドホン。イタリヤの高級オーディオブランド「GOLD SIM」と「TOP FORM」を受賞。</p>
<p>1975</p> <p>MONITOR 10 放送向けモニター用高級ヘッドホン。オーディオ製作現場でパイオニアの中でも高い評価を得た。</p>	<p>1977</p> <p>SE-11 (Eleven) パイオニア独自のリアリアルチャンネル方式で、リアルな音場再現を実現。聴感で長年、ダイナミックサウンドを生む。</p>	<p>1979</p> <p>SE-1000 高級特級ヘッドホン。専用ヘッドホンアンプの出力と調音による高音質。聴感で長年、ダイナミックサウンドを生む。</p>	<p>1980</p> <p>MASTER-1G リアリアルチャンネル方式オープンエア型ヘッドホン。聴感で長年、ダイナミックサウンドを生む。</p>



SE-MASTER1

この音作りの DNA とも言える思想を受け継ぎ、持てる技術のすべてを投入した当社のフラグシップモデル「SE-MASTER1」は、数多のスピーカーの銘機を生み出してきた山形県天童市の東北パイオニア工場で熟練マイスターのハンドメイドで一つ一つ生産されています。この「SE-MASTER1」を頂点とするハイファイオーディオ再生を目指したヘッドホン、イヤホン商品群が中軸を構成しております。当社では、「原音に忠実な再生」という姿勢はそのままに、お客様の

用途別に様々な生活シーンで使われるヘッドホン・イヤホンを使い勝手やデザイン性を使用シーン毎に合わせ、幅広い商品ラインナップにて以下の提案をおこなっております。

- 近年人気が高い、コードがない完全ワイヤレスイヤホン（コンパクトタイプとスポーツタイプ）
- お出かけシーンやスタイルにマッチするスタイリッシュなデザインと高音質を両立させた Bluetooth®接続によるワイヤレスヘッドホン
- ジョギングやジムでのワークアウトなど、スポーツシーンでの快適な装着感と防水対応を施したスポーツタイプイヤホン
- 長時間装着しても疲れを感じにくい TV 用ヘッドホン



C5truly wireless



S6wireless noise cancelling

現在、パイオニアブランドの商品に加えて、新たなオンキヨーブランドのヘッドホン・イヤホンも近日発表の準備を進めており、準備が整い次第順次発表いたします。

① 参考 URL

* 1 : 当社グループのご紹介について (2) オンキヨーホームエンターテイメント株式会社

https://onkyo.com/ir/ir_news/date/2020/20210129_JQIR_gaiyouseitsumei_OHE.pdf

* 2 テレワーク企画 オンキヨーはテレワークをサポートします。

<https://www.jp.onkyo.com/audiovisual/cp/telework2/>

* 「Pioneer」および「Pioneer」ロゴはパイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

* Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

* その他文中の商品名、技術名、機能マークおよび会社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。